

## 障がい者活躍推進計画に基づく取組の実施状況（令和5年度）

南魚沼市障がい者活躍推進計画に基づく取組の令和5年度分の実施状況について、以下のとおり公表します。

### 1 計画期間

令和5年度から令和8年度（4年間）

### 2 目標に対する達成度

#### （1）採用に関する目標

市長部局、教育委員会、病院事業部局の三部局を合算した障がい者雇用率

目標値	実績
実雇用率 3.00% (令和8年6月1日時点)	実雇用率 2.07% (令和5年6月1日時点)

#### （2）定着に関する目標（全部局共通）

目標値	実績
不本意な離職者を極力生じさせない。	退職した職員の中で 職場環境等を理由とした 不本意な離職者は1名でした。

#### （3）満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標（全部局共通）

目標値	実績
初年度の基準を上回る。	計画初年度のため実態に関するデータ 収集のためのアンケートを実施

#### （4）キャリア形成に関する目標（全部局共通）

目標値	実績
1～2項目の新たな職域の 開拓に努める。	これまでの各課単位での採用に加えて、 各部署から依頼された事務補助や 軽作業を行う「障がい者ワークステーション」を設置

### 3 取組内容の実施状況

#### (1) 障がい者の活躍を推進する体制整備

##### 組織面

- 障害者雇用推進者を中心として、障害者職業生活相談員、ハローワーク、障がいのある職員が所属する部署の長、福祉課障がい福祉係、障害者就業・生活支援センター、就労支援施設が連携し情報を共有する体制で、障がいのある職員の採用や各種相談、採用後のフォローアップを行いました。
- 「障がい者ワークステーション」を令和5年4月に設置し、室長、支援員、障がい者5名の体制で、主に庁内外の軽易な作業を集約し業務を行いました。

##### 人材面

- 新潟労働局が開催した障害者職業生活相談員資格認定講習に総務課人事係職員2人が受講しました。
- 新潟労働局が開催する「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」に2人が受講しました。
- 新潟労働局の職場適応支援事業（ジョブコーチ支援）を活用し、障がい者ワークステーション職員3人が職場適応支援者（ジョブコーチ）による支援を受けました。

#### (2) 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出

- 各所属長とヒアリングを通じて、業務の切出し・創出について検討を行い、複数課の業務を担う部単位で採用する業務を切出しました。
- 「障がい者ワークステーション」への業務の切出しは、各部署に毎月依頼し、業務を選定した中で、障がいの特性を考慮し業務を行っています。
- 新規採用者について障がい者と業務の適切なマッチングができているかを点検しました。

#### (3) 障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

##### ①職務環境

- 新規に採用した障がい者については採用面接時に、必要な配慮等を把握し、継続的な措置を講じました。

##### ②募集・採用

- 障がい者限定の軽易な業務に従事する職員の募集を行いました。
- 面接前に希望者を対象とした職場見学及び体験を行いました。
- ハローワーク、就労移行支援機関、総合支援学校と連携及び情報共有しながら募集活動を行いました。

(4) その他

- 国等による障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障がい者就労施設等への作業発注等を行いました。
- 障がい者就労施設等における民需拡大のため、当該施設等が生産・加工・製作した物品を販売する機会を提供しました。